

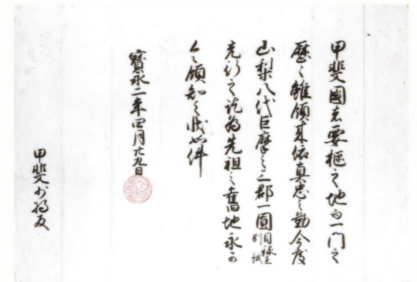
# 柳沢吉保・吉里二代の甲府



やなぎさわ よしやす  
柳沢吉保 (1658~1714)

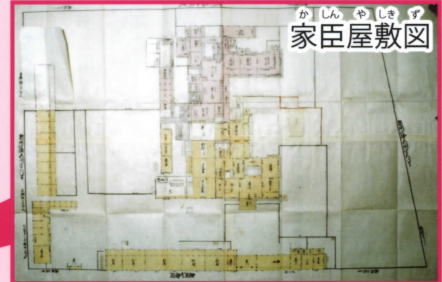
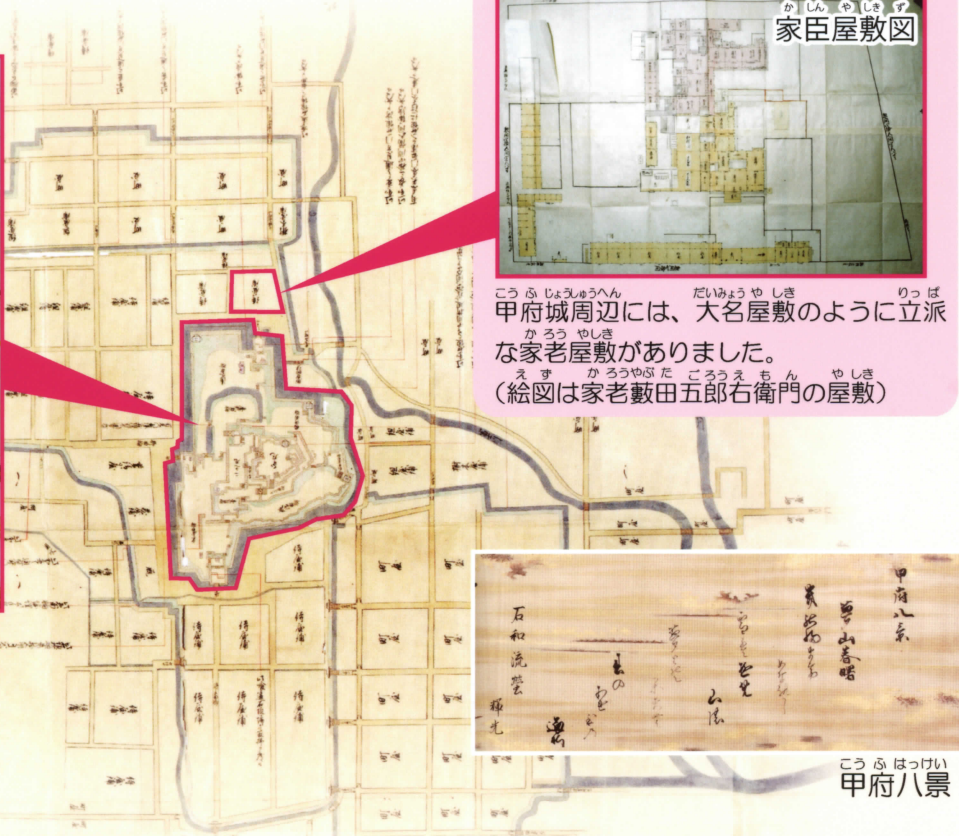
柳沢家は武田信玄と同じ甲斐源氏の一族で、吉保は武田信玄を崇拜していました。江戸幕府五代将軍の徳川綱吉に儒教を教わり、綱吉の側近として活躍しました。

- 1658年 誕生
- 1673年 元服(成人式)
- 1675年 父安忠より家督相続(530石)  
曾雌定子と結婚
- 1687年 息子の吉里誕生
- 1688年 大名となる(1万石)
- 1694年 武蔵の国川越城主(7万石)
- 1704年 甲府城主(15万石)
- 1714年 江戸にて死去
- 1724年 息子の吉里は大和郡山(奈良県)へ所替

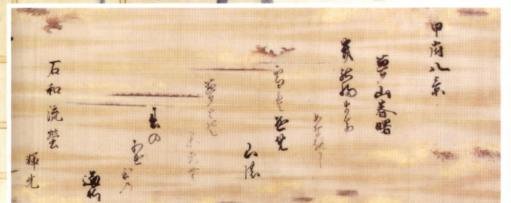


甲斐の国領地朱印状

## 当時の甲府城



甲府城周辺には、大名屋敷のように立派な家老屋敷がありました。(絵図は家老数田五郎右衛門の屋敷)



甲府八景

## 「是ぞ甲府の花盛り」 柳沢吉保・吉里の功績

- 甲府城の修理をしました。
- 甲府城内に、御殿を造りました。
- 甲府城下町の整備・拡大をしました。
- 町名の変更をしました(「古柳町」⇒「元柳町」など)。
- 甲斐のすばらしい八ヶ所の風景を、「甲府八景」として決めました。
- 現在の護国神社の場所に菩提寺として、黄檗宗の永慶寺を造りました。



四花菱



柳沢吉保夫妻の墓(甲州市恵林寺)